

健康づくりによる地方創生



スマート
ウェルネス
コミュニティ

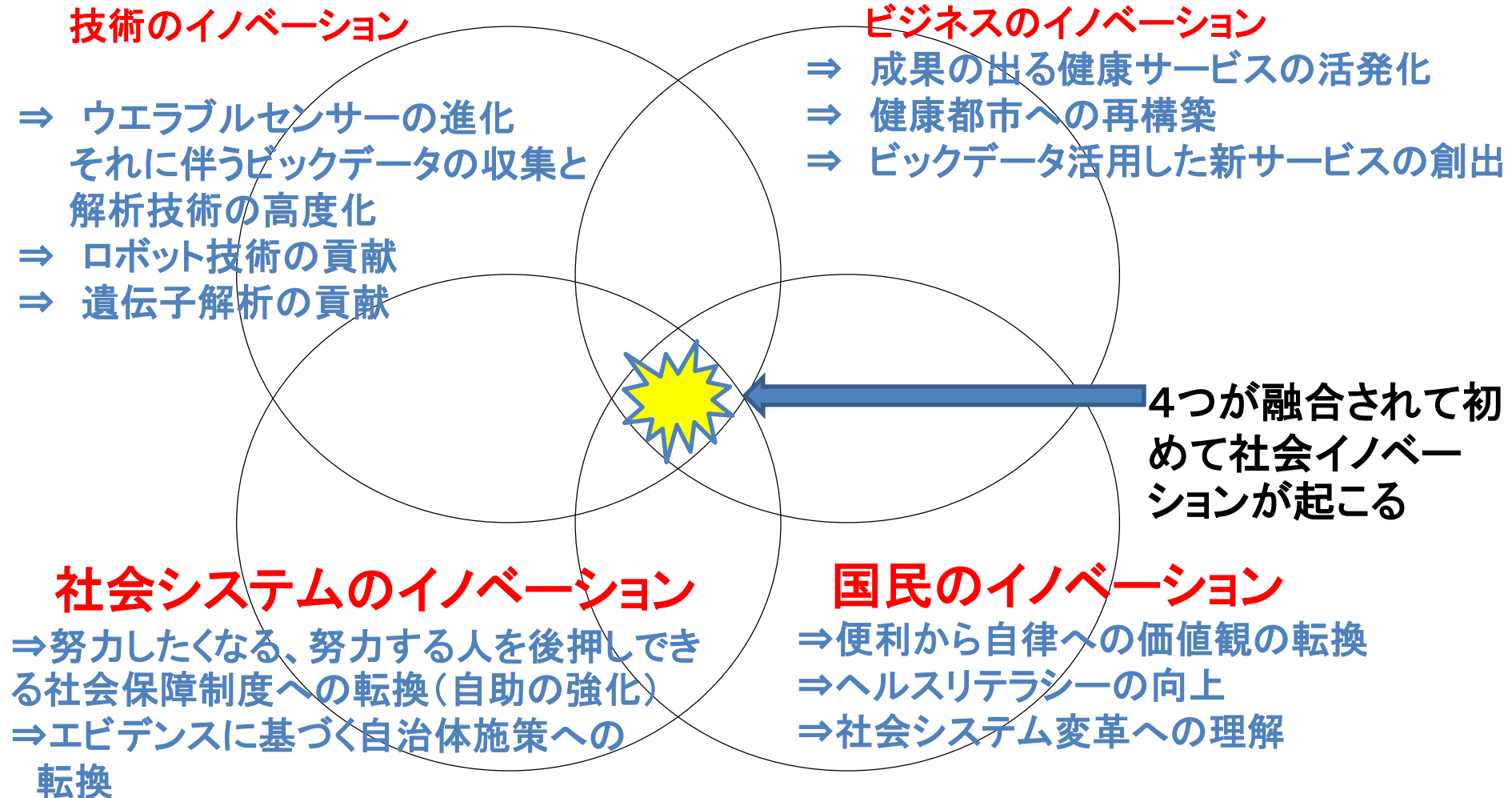
2015年 9月24日

久野譜也

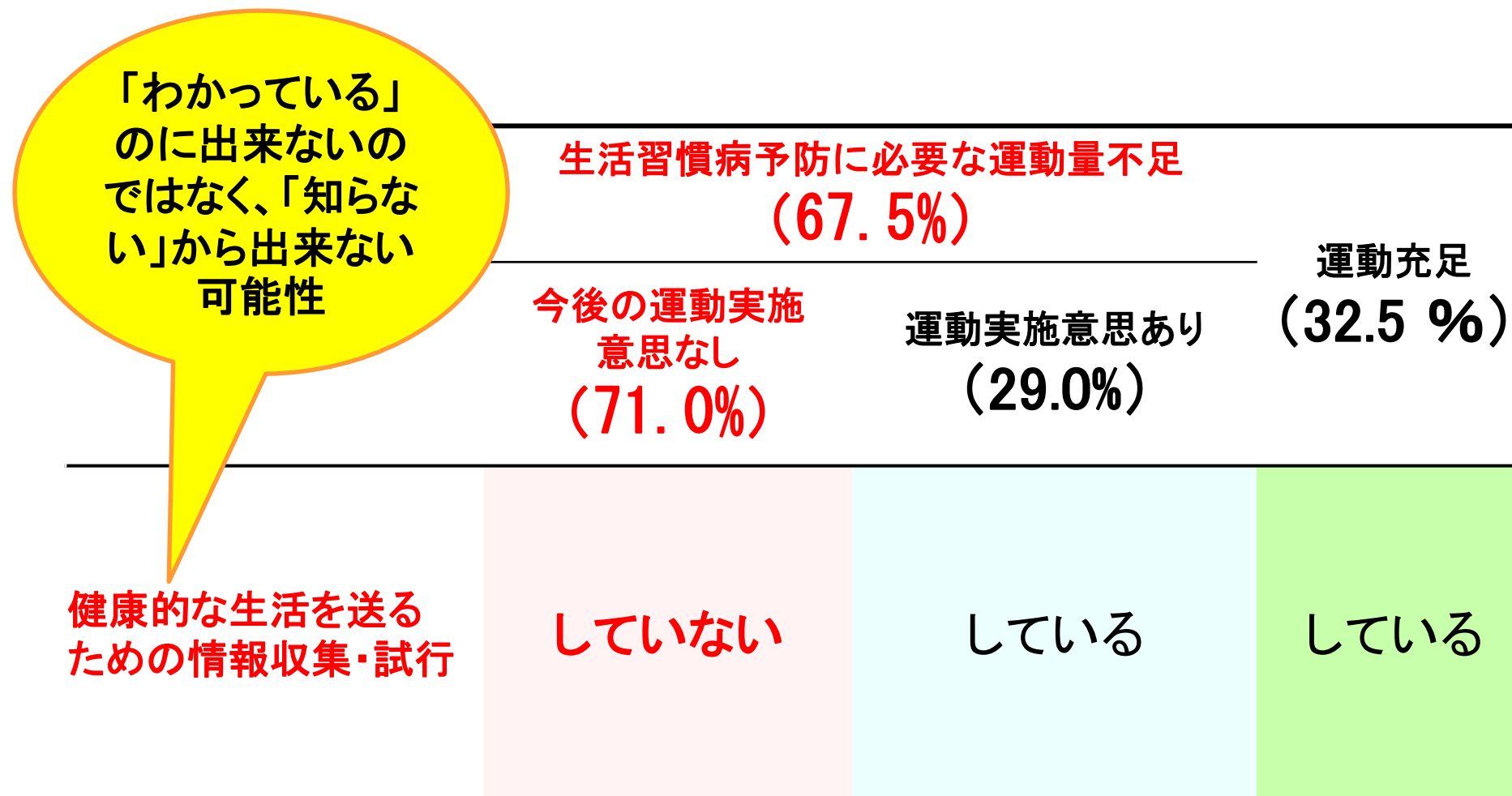
筑波大学大学院 人間総合科学研究科

地方創生と健康長寿を実現するための社会イノベーションの構造

⇒エビデンスに基づく総合的な政策のパッケージ化とそれに基づく推進が重要



課題を解決するためには 無関心層(7:3の法則)への戦略が極めて重要

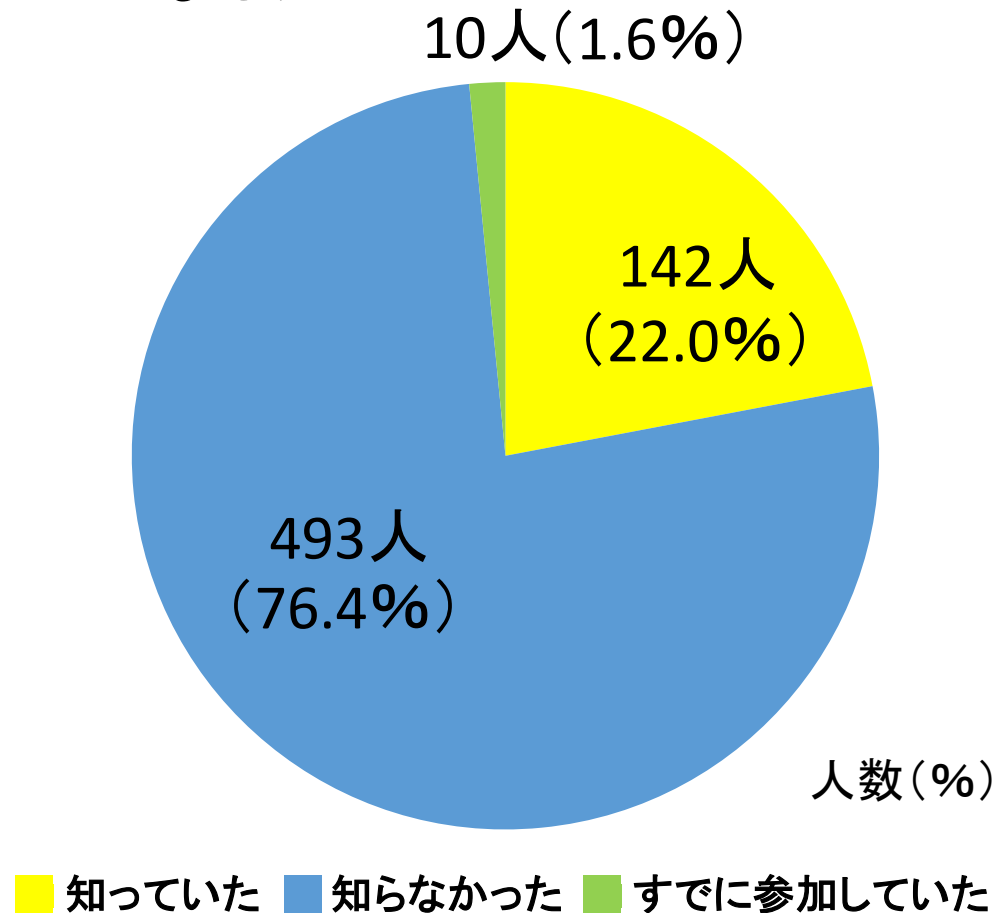


平成22年度 筑波大学久野研究室 (有効回答1914名)

Copyright © 2015 Kuno Lab., University of Tsukuba. All Rights Reserved

インセンティブ制度の成功には 自治体広報体制の強化が重要

【質問】 当市では、2013年の11月に最大15000円相当の特典が受けられる「健康運動教室」の募集が実施されました。あなたはこれを知っていましたか？





最大 **24,000** ポイント/年

歩数の増加



★ 最大 **9,600** ポイント/年

運動プログラムへの参加



★ 最大 **5,400** ポイント/年

6ヶ月の継続



★ 最大 **1,000** ポイント/年

体組成の改善



★ 最大 **4,000** ポイント/年

健診の受診



★ **1,000** ポイント/年

健診データの改善



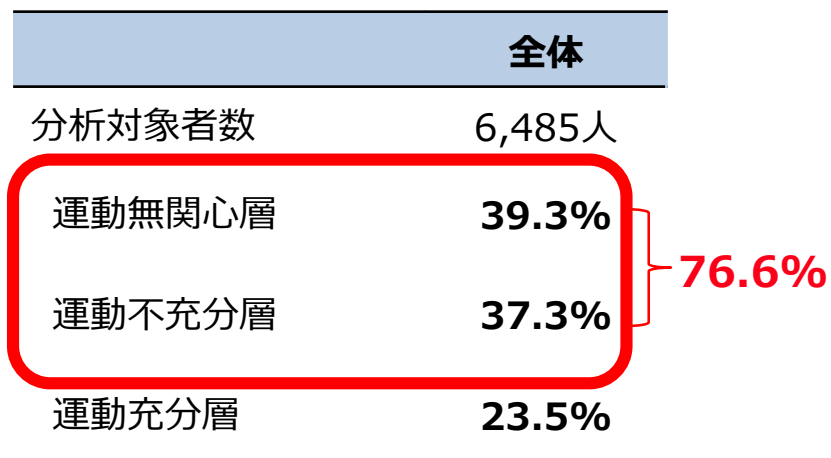
★ 最大 **3,000** ポイント/年

インセンティブにより、これまでにない規模での事業が実現！

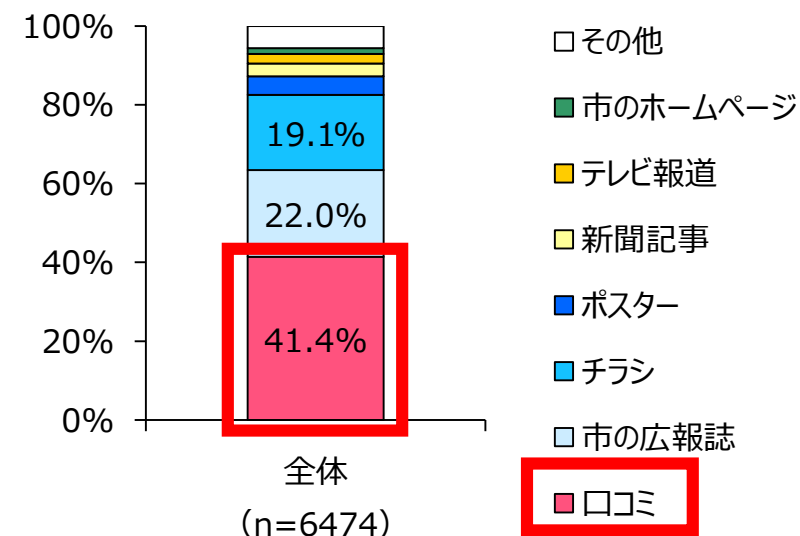
自治体	人口	国の仕様値	自治体目標値	H26年度実績	H27年度新規予定
伊達市 (福島県)	6.6万人	500人	1,000人	1,000人	3日間で定員達成 1,500人
大田原市 (栃木県)	7.8万人	500人	500人	525人	1,000人
浦安市 (千葉県)	16.1万人	500人	500人	539人	1日目午前で定員達成 2,000人
見附市 (新潟県)	4.2万人	500人	1,000人	1,040人	1,500人
高石市 (大阪府)	6.0万人	500人	1,000人	1,091人	2,000人
岡山市 (岡山県)	71万人	500人	2,000人	3,427人	定員以上の申込を受け、定員を増加 4,500人
合計		3,000人	6,000人	7,621人	12,500人

健幸ポイントプロジェクトの成果 インセンティブは無関心の壁を破る

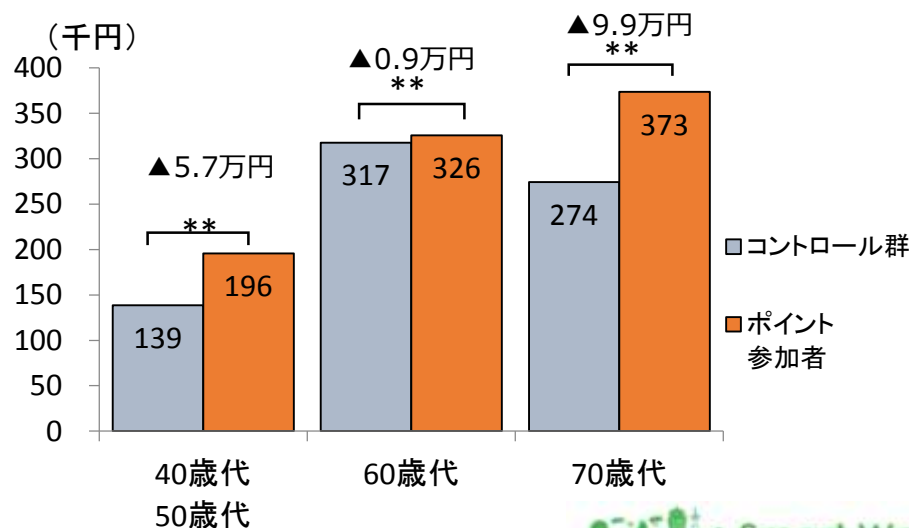
① 参加者の約77%は無関心層と不十分層



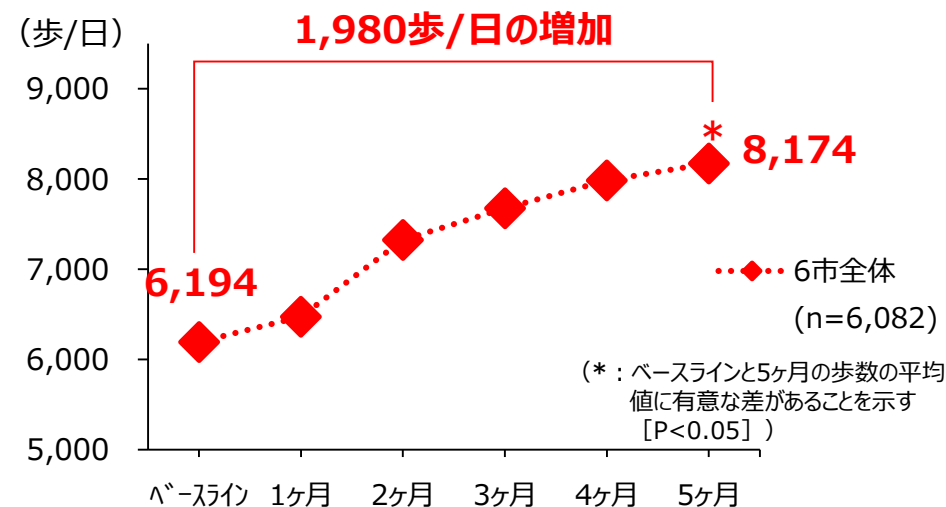
② 参加の決め手となった情報源は口コミ



③ 参加者の総医療費・人はより高い傾向 ⇒健康度の低い住民が参加した可能性



④ 活動量が8千歩/日を上回る



日本の地方都市の現状

多くの地方都市は、人が歩かない「まち」になってしまった。
それが、生活習慣病を増加させ、ソーシャルキャピタルを低下させ、
地域活性化の阻害要因となっている。



【例】A小学校区高齢化率 **42.8 %**

超高齢化対応の目指すべき健康都市とは

意図しなくても、自然に歩いて(歩かされる)しまう都市づくりがこれからの健康都市の方向性である。そのためには、都市の集約化、歩行空間と公共交通の整備、街のにぎわい(商店街の再活性化)などが必要で、この方向性は、健康課題だけでなく、多くの地域課題も併せて解決することが期待される(久野 2011, 広井 2012)

1970年代



現在(2011)



ドイツ・フライブルグ市は、44年前に中心市街地に車の進入を原則禁止し、LRTなど公共交通を再整備し、快適な歩行空間の形成に成功している

自治体関係者へのメッセージ

Smart Wellness City実現のための原則

市民の価値観を「便利」から「自律」へ変化せる
社会イノベーションをどのように起すのか！！

- ① エビデンスに基づくPDCAサイクルを回せる仕組みが庁内にある
- ② 社会イノベーションを起せる人材の育成を行っている
- ③ 事業参加者の評価のみではなく、その事業がアウトカムに対してどのような位置づけになるのかが最大の評価であることへの強いこだわりがあるかどうか。(部分利益から全体利益へ)
- ④ 多数の住民を巻き込める事業であり、その結果産業の活性化や医療費や介護費の抑制(市の会計単位で)につながる計画であるか

イノベータ（innovator革新者）とは

天才的な閃きと突破力を持ち、世の中になかった価値提案ができる存在

社会イノベータとは

社会変革（Social change）の担い手として、社会の課題を認識し、これまでの常識を脱し、社会の様々な要素や人と人との新しい結合によって、これまでにない新しい考え方や物事を創造し、人・組織・社会の変革＝イノベーションへと結びつけることができる。自らそのプロセスをデザインしたり、マネジメントしたりする能力を持つ人。

創造的思考力の三分の一は遺伝である。
イノベーション能力の三分の二は学習によって習得可能である。

クレイトンイ・クリステンセン他,ノベーションのDNA ハーバードビジネスレビュー,2012

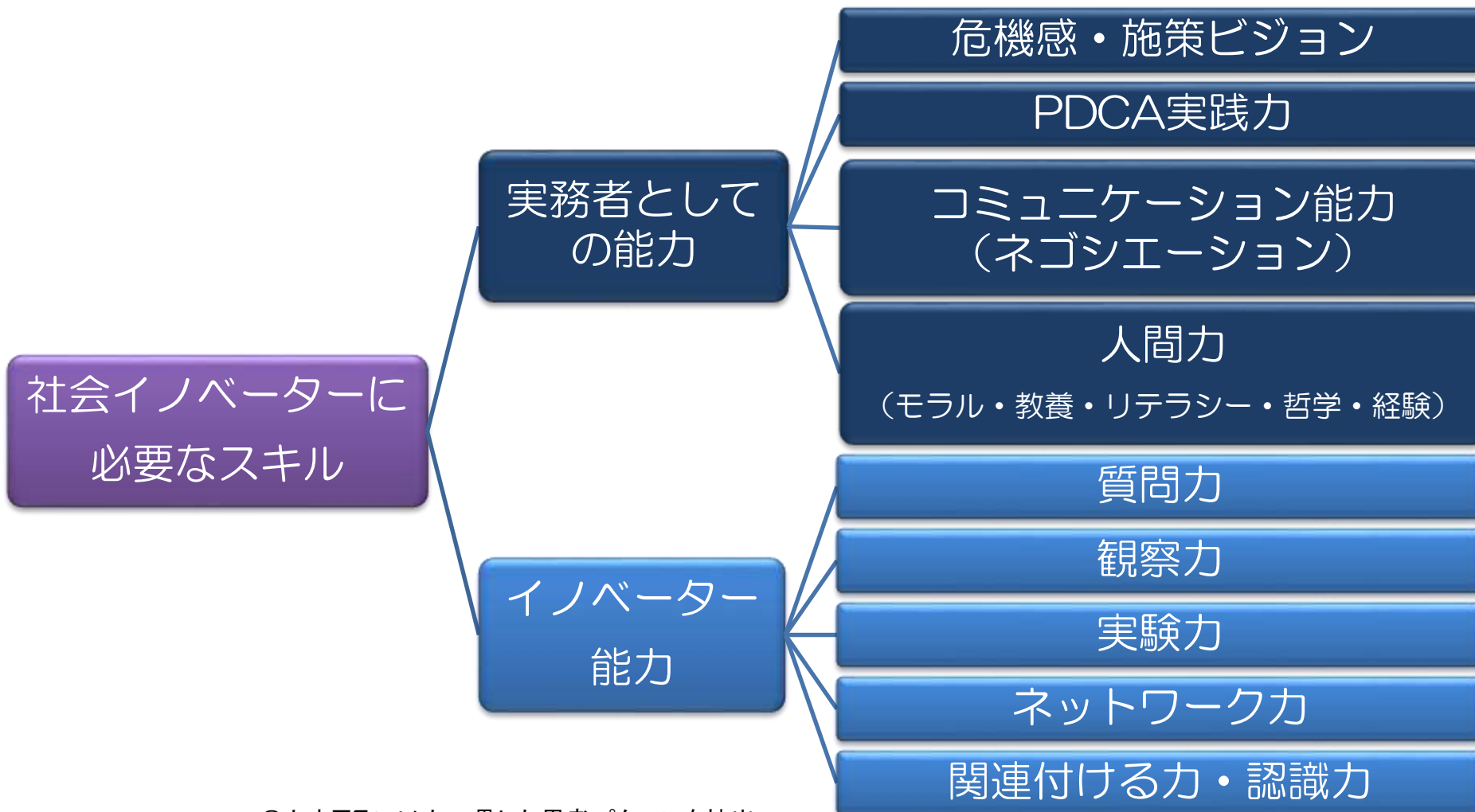
しかしながら……

- 高齢化・人口減の克服手段として、健康を中核に据えた地域活性化に関する研究は、世界を見てもほとんど着手されておらず、我が国がリードできる新しい独創的な研究分野である
- 社会イノベーションの促進役となる実務者の人材育成プログラムの要件に関する研究は我々の知る限りみられない

塚尾 (2013)

健康都市プロジェクトにおける 社会イノベーターに必要なスキル

SWC総合特区プロジェクトに参加している首長7人とそのプロジェクトリーダーの計8人を社会イノベーターと位置付けてインタビューを実施



8人中75%以上一貫した思考パターンを抽出
質的分析には、グラウンデッド・セオリー・アプローチ理論を使用

塚尾 (2013)



健康都市プロジェクトにおける 行政イノベーターに必要なスキル

イノベーターに共通する3つの姿勢

- 常に現状に対しての危機感と、その現状を変えたいという強い意志
- 変化を起こすために常にリスクを認識したうえで、自からの責任でそのリスクをとることを選択している
- 創造的な仕事を自らやる

総合特区で推進している健康都市プロジェクトを推進していく中で、 実務者の課題と必要な能力

- 「現状の社会の状況に対しての危機感がない」「受け身の仕事の仕方である」「リテラシーが低い、情報をとろうとしていない」
- 原因としては、個人の能力というよりも、人事管理体制や、組織の和が優先され、個人の能力を開発するための実力主義、競争主義的な人事管理はタブー視されてきた組織風土や事業の前例踏襲主義になりがちな役所文化の影響が大きいと考えられる。

塚尾 (2013)

自分の枠を外す

今の自分の状態を知ることが大事、固定観念に縛られてはイノベーションはできない

他の人の考え方がインスピレーションになる

関心が積み重なって感覚が培われる

情報を正しく知る

世の中に溢れる情報からいかに正しい情報を見つけるか

健康は広義で得られるものと認識する

健康は一つの分野の狭義で得られるものではない。ツールの一つに過ぎない

思ったことを形にする勇氣

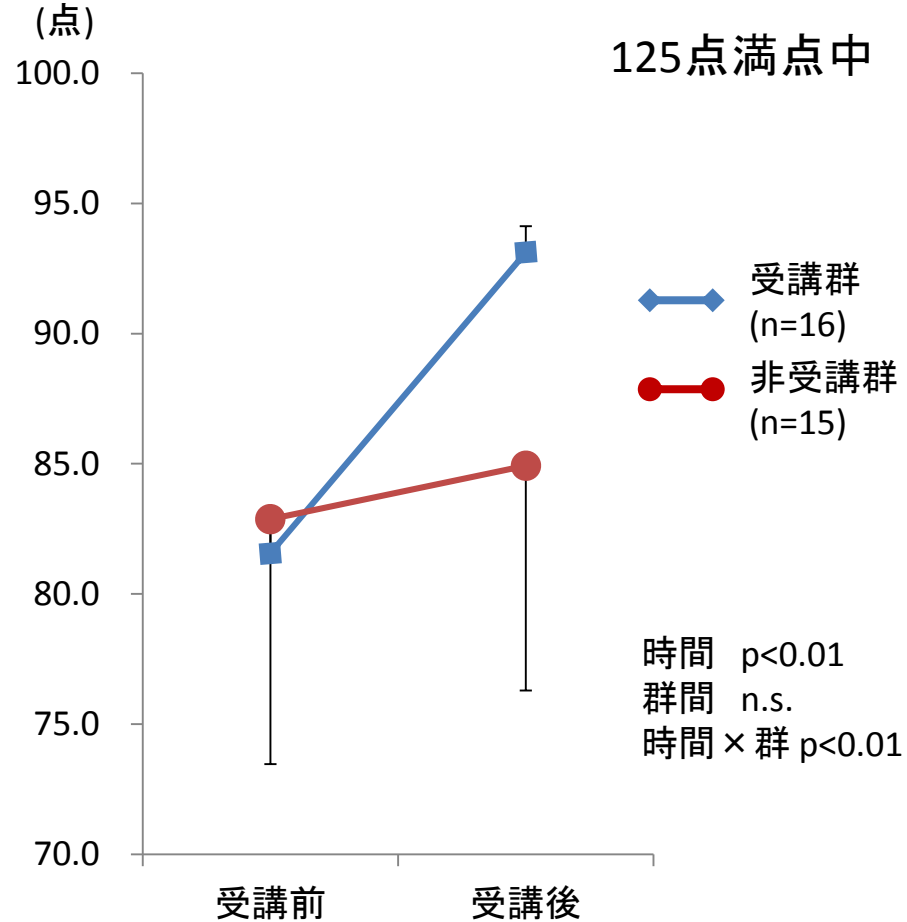
社会を変えるためには信念、理念が重要になる。自ら責任をもって上にいこうとする。出来ない理由は探さない。

世のため人のためになっていないものは事業として長続きしていない
より良いものをより良く提供している、そして利益が出ている

人材育成プログラムの評価 (各能力の受講前後の変化)

行政能力(総合)

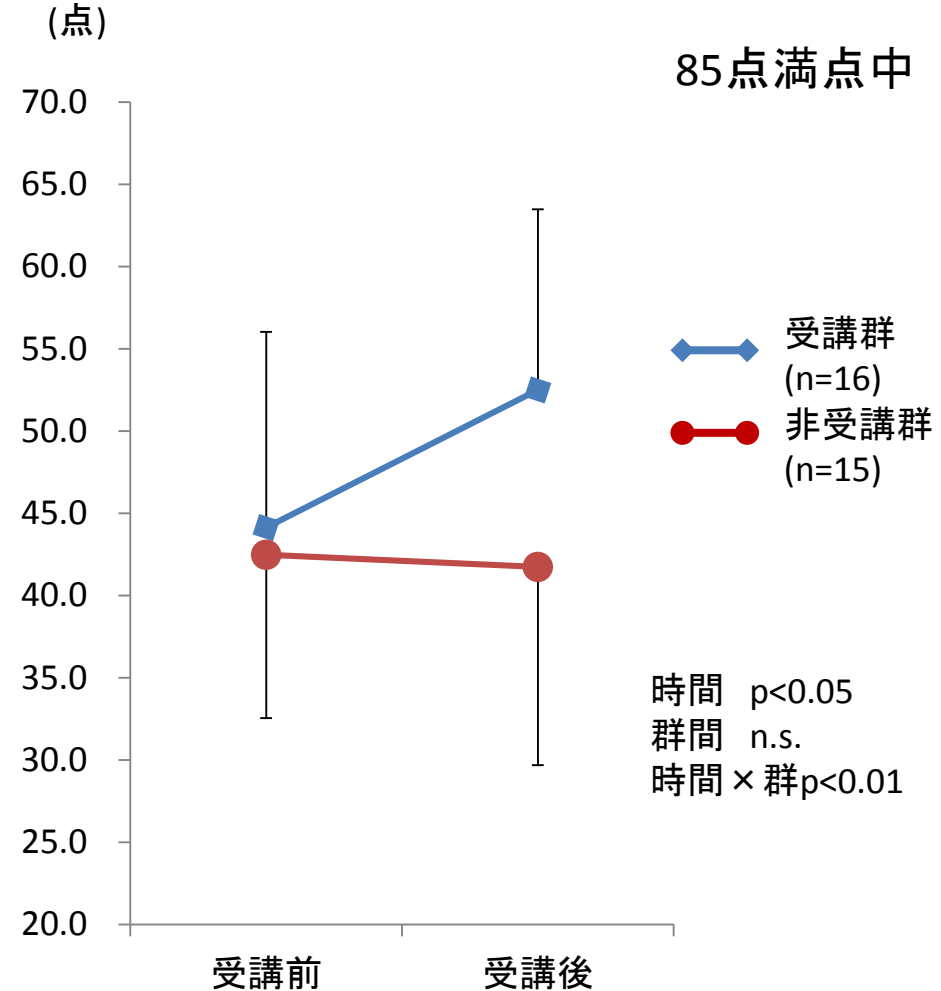
健康課題に対しての危機感・施策のビジョン、
PDCA実践力、コミュニケーション能力、人間力



平均（標準偏差），二元配置の分散分析

イノベータ能力(総合)

質問力、観察力、実験力、ネットワーク力



平均（標準偏差），二元配置の分散分析

自由記述の課題レポート内容 (全6回のプログラムを通して見えてきたこと)

M市 40歳 男性 係長

……(略) 今回の研修で学んだ“全体利益と部分利益”の、まさに部分利益しか考えていなかった。目の前の課題しか捉えていないとんでもない職員だったんだなと市職員になって18年も経ってようやく気づくことができた。もっと早く気づきたかった。

今まで自分の中では、自分なりにいい仕事をしてきたという自負があったが、今回の研修を終えて過去の自分を振り返ると恥ずかしくなる。今回の機会がなければ、これからも同じように誤ったまちづくりをしていくところだった。変な自信を持ったタチの悪い職員のままで職業人生を終えてしまうところだった。……(略)